

[2022/2023]九州大学附属図書館年報

<https://hdl.handle.net/2324/6791159>

出版情報：九州大学附属図書館年報. 2022/2023, pp.1-, 2023-06. Kyushu University Library
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2022/2023

九州大学附属図書館年報 2022/2023



CONTENTS もくじ

Topics	3
展示会・講演会	7
国際化	9
講習会/Cute.Guides	10
新規コレクション・デジタルアーカイブ・ 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)	11
研究開発室	13
人材育成	14
統計	15
附属図書館の組織	21
人事異動	23
貴重資料の学外展示・掲載・放映	24
図書館日誌	25



附属図書館長

谷口 倫一郎

はじめに

令和4年10月より附属図書館長を拝命致しました。新型コロナ禍の影響が長引く中、図書館運営という困難な課題に携わってこられた、歴代の宮本一夫、久保智之、岩田健治附属図書館長の後任として、ピヨンド・コロナの附属図書館の発展に尽力して参りたいと存じます。

令和5年4月の新学期からは、感染拡大防止に十分注意するものの「マスク着用は個人の判断に委ねることを基本とする」という新しいマスク着用の考え方でキャンパスの活動が始まっており、いよいよパンデミックの終息期に向かっているという期待感が高まっています。これに併せるように附属図書館にもパンデミック前の活気が戻って参りました。コロナ禍の3年間は、利用時間や利用座席数の制限をはじめ各種の感染拡大防止措置を施す一方、図書館サービスの水準維持のため、電子ジャーナルの特別提供、電子ブックの整備、貴重資料等の電子化と即時公開、各種学習・教育支援のオンライン化等、一連の非来館サービスを拡充して参りました。この3年間、図書館関係者にとってはなかなか厳しい時期でしたが、新しい技術と出会い、新しい図書館の在り方を考えるまたとない機会となったというポジティブな面もございました。今後は、コロナ禍により加速したデジタル化をさらに推し進め、実空間とデジタル空間のそれぞれの特徴が補完し合う新しい魅力ある図書館の在り方を利用者の皆様と共に追求して参ります。

令和4年は、附属図書館設置百周年にあたる節目の年でした。大正11年の九州帝国大学附属図書館設置に始まる百年の歴史を写真で振り返るWebページを公開いたしました。また、中央図書館の360°VR(ヴァーチャル・リアリティ)映像も公開しました。これは、付設教材開発センターが開発したもので、中央図書館の壮大な雰囲気を体験してもらうことが可能になっています。10月には改修中であった医学図書館がリニューアルオープンいたしました。医学図書館の1階展示室には彫刻家・上床利秋氏が制作した中村哲医師ブロンズ像の常設展示が行われています。附属図書館は、故・中村哲医師(本学医学部卒)の志を次世代に継承する九大プロジェクト「中村哲医師メモリアルアーカイブ」「中村哲著述アーカイブ」に引き続き貢献して参ります。

九州大学はSky株式会社とネーミングライツに関する契約を締結し、中央図書館4階アクティブラーニングスペースを「Sky Cute Commons(スカイ きゅうと commons)」、理系図書館1階エントランスプラザを「Sky Q-Bridge(スカイ キューブリッジ)」として開設いたしました。今後愛称が親しまれるよう定着に努めるとともに、施設の有効活用に取り組んで参ります。

研究教育の展開にとって最重要のインフラともいえる電子ジャーナルを巡っては、購読料が高騰する一方、OA(オープンアクセス)への転換が世界的潮流となっております。九州大学でも、一部出版社とは令和6年からOA出版モデル契約の試行を開始する方向で検討を進めています。電子ジャーナルについては、当面、現行の購読規模を維持するための安定的財源の確保について、各部局の皆様と知恵を出し合っ参りたいと考えます。

末筆ながら、令和3年度より九州大学基金の用途特定プロジェクトとして「九州大学デジタル資料整備事業」を開始しております。これは貴重書などのデジタル化と公開を進める事業で、寄附金額に応じて、附属図書館所蔵の貴重書をモチーフとしたオリジナルグッズの進呈もごさいます。皆様の御協力をお願い申し上げます。

Topics

医学図書館リニューアルオープン

令和3年8月から実施していた医学図書館の改修工事は、令和4年3月に竣工しました。令和4年6月末で仮設図書館が閉館し、1ヶ月の移設期間を経て、同年8月から1階閲覧席と学生用図書の利用に限定した部分開館がスタートしました。

その後、医学図書館は同年10月6日にグランドオープンを迎えました。当日はグランドオープン記念式典を開催し、石橋総長、谷口附属図書館長、住本医学図書館長、医学部保健学科4年 四元恭佳さん、歯学部歯学科4年 久保瑛梨華さんによるテープカット、施設の概要説明が行われました。また、中村哲医師のブロンズ像「アフガンに生きた侍」の作者である、彫刻家・上床利秋氏とベシャワール会、500点以上もの貴重な資料

をご寄贈いただき「17世紀日欧交流における医学と医療」展示会を監修いただいたヴォルフガング・ミヒェル名誉教授に感謝状が贈呈されました。

今回のグランドオープンに合わせて、1階展示室では中村医師ブロンズ像の常設展示が始まりました。中村医師の訃報を受け令和2年に上床氏が制作し、ベシャワール会へ寄贈した作品です。「中村医師の功績や人柄を後世に引き継ぐ一助となれば」と願いが込められています。令和4年9月にベシャワール会から本学医学研究院に寄贈されました。



テープカットの様子



館内の様子



中村哲医師ブロンズ像

筑紫図書館改修

筑紫図書館設置時(平成16年4月)に導入された自動化書庫システムの老朽化により維持が困難になってきたこと、および近年の閲覧エリア拡大の要請により、令和3年度に自動化書庫を廃止・解体し、その後令和4年度にかけて撤去跡を閲覧室とする改修工事を実施しました。

工事に伴い、自動書庫内の資料約24,000冊の再整理にも着手しています。全ての資料をクリーニング後、広大な建物面積を有する伊都キャンパス中央図書館に仮置きし、再配架するものを選んで筑紫図書館に随時移送するという大がかりな作業を経て、これまで閉架に所蔵していた資料を開架に置くために一冊ずつ装備も改めている最中です。改修後の閲覧室のインダストリアルな空間は学生の創造意欲を掻き立て、アクティブラーニングの場としての活用が期待されます。



改修後の閲覧室

芸術工学図書館改修

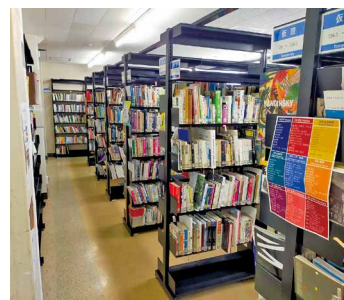
芸術工学図書館は施設の老朽化改善・機能強化のため令和4年6月～令和5年1月に建物改修工事を行いました。そのコンセプトは、隣接する芸術工学図書館と情報基盤室庁舎(情報統括本部大橋分室)を物理的に架橋し、相互の空間配置を見直すことです。また、玄関の位置を従来とは反対の正門側に移設し、大橋キャンパス内での視認性、利便性を向上させました。

改修工事期間中は、同キャンパス内の共用施設棟1Fに仮設図書館を設置し、規模を縮小してサービスを提供しています。

工事後、書架の設置や資料の搬入・配架等を行い、新しい芸術工学図書館のオープンは、令和5年6月を予定しています。



改修工事の様子



仮設図書館 書庫



附属図書館百周年

附属図書館の歴史は、大正11年の九州帝国大学附属図書館設置に始まり、令和4年で百周年を迎えました。附属図書館ではこれを記念して、百周年記念の特設サイトを公開し、附属図書館の百年の歴史を、創設当初から残る記録写真で振り返りました。

特設サイト：<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/exhibition/100th>

また、第59回 附属図書館貴重文物展示「17世紀の日欧交流における医学と医療」を開催しました。(詳細はp.7をご覧ください。)

百周年記念グッズとして、クリアファイル2種を作成しました。こちらは九州大学デジタル資料整備事業へのご寄附の期間限定特典として配布しています。



クリアファイル：表面



クリアファイル：裏面

配布期間：令和4年10月1日～令和5年9月30日
(先着50名。在庫が無くなり次第終了)

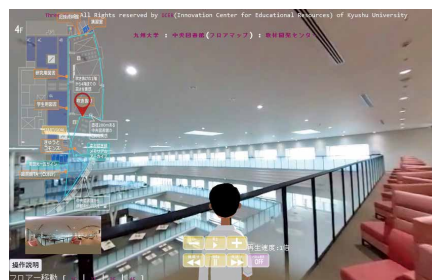
中央図書館360°VR ツアー

九州大学111周年VISION EXPO プロジェクトの一環として、中央図書館の図書館360°VR（ヴァーチャルリアリティ）映像を作成し、オープンキャンパスに合わせて公開しました。

館内で紹介したいポイントを図書館職員が選定して動画の構想を練った後、撮影と編集は、付設教材開発センターが行いました。岡田センター長の指揮のもと、テクニカルスタッフと総勢11名の学生アルバイトが撮影位置の測定・430地点に及ぶポイントでの撮影・動画の編集作業に取り組みました。

1ヶ月半に及ぶ撮影・編集期間を経て、視点や再生速度を変えながら、自身のペースで館内を散歩している雰囲気味わえる動画版と、映像の中の円盤やマップのポイントをクリックして、好きな場所へ移動することができる静止画面版の2種類の動画が完成しました。令和4年度のオープンキャンパスはオンラインで開催されましたが、本VR動画を通して、中央図書館の壮大な雰囲気を体験してもらうことが可能となりました。

Webサイト：<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/libraries/central/VR>



動画版の一場面



撮影・編集の様子

ネーミングライツ契約・開設記念式典

九州大学はSky株式会社（東京本社：東京都港区/大阪本社：大阪市淀川区）とネーミングライツに関する契約を締結し、中央図書館4階アクティブラーニングスペースを「Sky Cute.Commons（スカイ きゅうと commons）」、理系図書館1階エントランスプラザを「Sky Q-Bridge（スカイ キューブリッジ）」として開設しました。

これを記念し、令和4年8月23日（火）に中央図書館にて記念式典を執り行い、Sky株式会社からは寺下執行役員、平井営業部課長、本学からは岩田附属図書館長、富浦附属図書館副館長・理系図書館長が出席しました。

セレモニーの後は中央図書館、理系図書館の見学を実施しました。

今後愛称が親しまれるよう定着に努め、引き続き学習・研究環境の向上、施設の有効活用等に取り組んで参ります。



Sky Cute.Commonsでのテープカットの様子



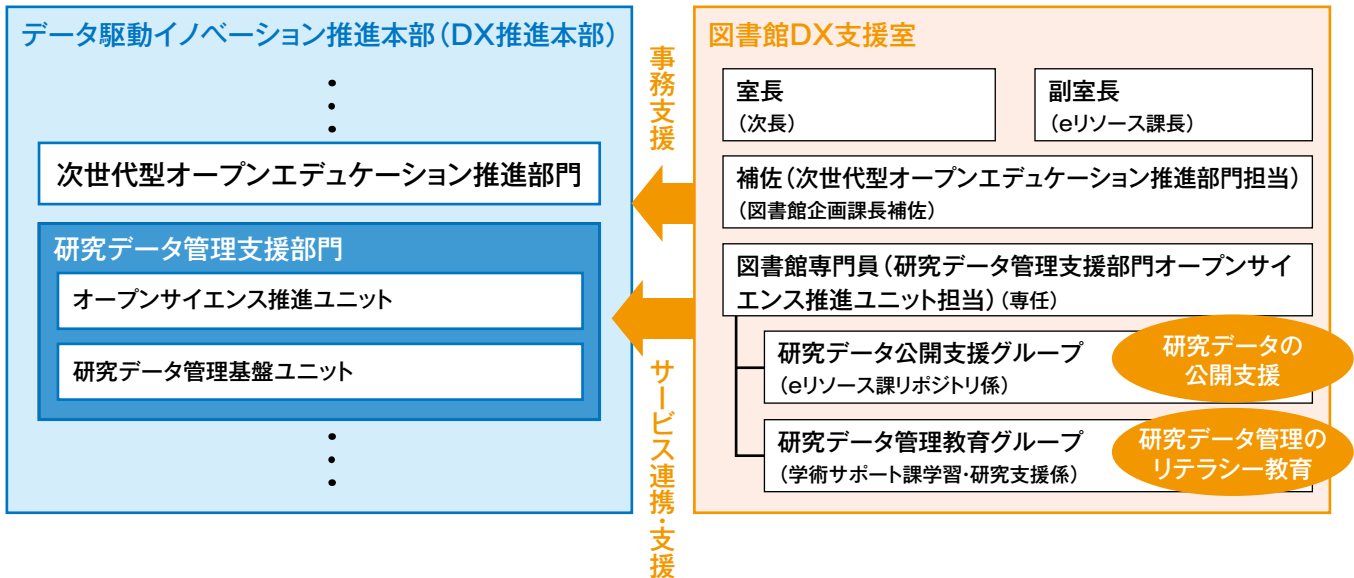
Sky Q-Bridgelにて

Topics

図書館DX支援室の設置及び研究データ管理への対応

九州大学は、データ駆動型の教育・研究・医療を展開するとともに、新たなデジタル社会のあるべき姿を提案することによる社会変革への貢献を目指し、令和4年4月にデータ駆動イノベーション推進本部を設置しました。

これに合わせ、附属図書館では、同本部の「研究データ管理支援部門（RDS部門）」「次世代型オープンエデュケーション推進部門」を組織的に支援する「図書館DX支援室」を設置し、研究データ管理サービスの構築に向けた取り組みをスタートさせました。

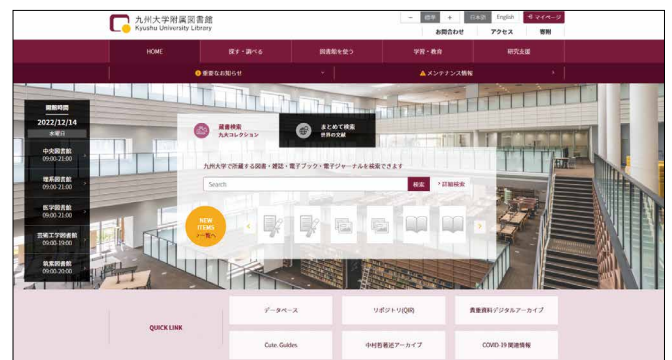


図書館DX支援室では、令和4年度にRDS部門との連携により、「九州大学研究データ管理・公開ポリシー」「同解説」の策定、研究データ管理システムの整備、海外大学の先進事例調査、研究データ管理の学内実

態調査等を行いました。令和5年度は、データマネジメントプラン（DMP）作成支援やリテラシー教材の提供、研究データ管理システムの試行運用など、段階的に研究データ管理サービスを開始していきます。

Webサイトリニューアル

令和4年12月15日、図書館Webサイトをリニューアルしました。リニューアルはシステムのバージョンアップに伴うもので、各コンテンツについては大きな変更はないものの、デザインを一新して、利用者に役立つ情報をコンパクトに、わかりやすく表示しています。また、所蔵コレクション、九大出版物、電子展示などの独自のコンテンツについても、今までわかりづらかったアクセス経路を整理するなど、より多くの利用に供することができるようユーザビリティを向上しました。



リニューアル後の図書館Webサイト

「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 下の九州大学附属図書館」公開

令和2年以降の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) への様々な対応の記録を残していくことへの重要性から、『新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 下の九州大学附属図書館』を作成し、下記URLで公開しました。
<https://doi.org/10.15017/4842495>

来館サービス・非来館サービスの対応状況の他、当時の広報活動や業務への影響、開館・利用状況と利用統計（電子コンテンツの利用統計を含む）、対応経費、電気使用量・料金の推移等、様々な記録・情報を取りまとめています。本記録の公開が今後の図書館運営の一助となることを期待しています。

付設記録資料館の活動

記録資料館法制資料部門では、令和4年度の『九州大学附属図書館研究開発室年報2021/2022』に「大阪塩町四丁目町内記録」の目録を公開しました。目録の作成に当たっては人文科学府博士後期課程中川晃一氏に多大なる協力を得ることができました。調査の結果、496点におよぶ資料群が明らかとなり、近世大坂が抱えていた都市問題が浮き彫りになってきました。近世大坂においては捨子をめぐって町を運営する会所が対応に注意を払っていたことがわかります。これは学術的にも大変興味深いものです。今後、「大阪塩町四丁目町内記録」が近世大坂の都市研究に利用されることを期待します。

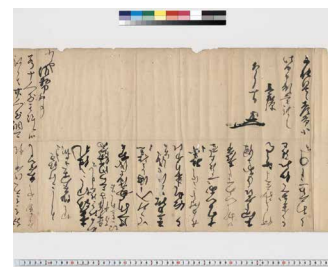
九州文化史資料部門では令和3年度の清末文書に続けて、令和4年度は富士谷家文書の巻1・2に収められている立花宗茂書状をデジタル化しました。富士谷家は京都を拠点として筑後柳川藩立花家の「御用」を勤めた家であり、柳川藩歴代藩主の書状が伝わっています。目下「九大コレクション」での公開準備を進めていますので、是非とも閲覧してください。

令和4年10月21日には産業経済資料部門と麻生家文書研究部門に

よる合同の記録資料館研究会を開催しました。北海道炭礦汽船会社資料の受け入れや麻生家文書の現状の報告と、産業経済資料部門の宮地英敏准教授の「川村順義と新入炭鉱」、同部門三輪宗弘教授の「麻生百五十年史の監修者として一方針と新たな発見」の二つの研究報告がありました。学外研究員の先生方をはじめ、多くの教職員および学生のみなさんに参加いただきました。同研究会については『記録資料館ニュースレター』17に詳報しています。



大坂の捨子



立花宗茂書状

付設教材開発センターの活動

教材開発センターは、ICTを活用した質の高い電子教材を提供し、教育の質の向上を図ることを目的に様々な事業に取り組んでいます。

1. 部局との連携及び学生協働によるICT活用電子副教材の開発と開発支援

基幹教育院をはじめとした各部局との連携及び学生協働により、日本史学教材、放射線治療セットアップトレーニング教材、歯科治療トレーニング教材、留学生向け日本語学習教材など、3次元CGやウェブ技術を活用した双方向型電子教材の開発を継続して実施しています。また、令和2年度より開始した国立台湾師範大学・科学教育センターとの共同研究では、九州大学が開発したゲーム教材の英語化や中国語（繁体）化を行いました。開発した教材は順次公開しています。



IoTセキュリティ・ゲーム教材の中国語（繁体）版

2. 映像教材等の撮影・編集・公開

本学の授業、講演会、講習会等を撮影・編集し、本学Webページをはじめ、YouTube、Podcast、OCWにより令和5年4月末現在1,500件以上の動画等を学内外に広く公開しています。また、平成30年度から始まった高校生対象の教育プロジェクト「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト（QFC-SP）」のオンライン授業向け講義収録を担当しました。

平成26年度から継続して制作・開講しているJMOC講座は、令和4年度「化石のメカニズムを探る一タフオミーへの招待」を開講しました。受講者数は515名、修了者数は246名で47.8%という高い修了率となりました。

平成28年度から取り組んでいる「代表的研究者紹介ビデオ」（第一期

期：先生の森【動画版】、第二期：九大百家）制作を担当し大学広報室と連携して順次公開しています。

3. 電子教材の著作権に関する取り組み

例年、電子教材を制作する際の著作権の取り扱い等について解説する「電子教材著作権講習会」を全学FDとして実施していますが、令和3年度と同様にオンライン開催（24名参加）としました。令和3年度から本格運用開始となりました「授業目的公衆送信補償金」制度の内容についても解説しました。本制度に関する相談対応もしています。



代表的研究者紹介ビデオの第二期「九大百家」のページ

4. 教育改革推進本部「教育方法・教材開発部門」に係る取り組み

平成29年度に設置された「九州大学教育改革推進本部」の「教育方法・教材開発部門」に係る取組として、ICT活用教育の啓発を目的に「電子教材開発者向け講習会」をオンライン開催（17名参加）し、教材開発センターの電子教材開発の取り組みについて報告しました。



電子教材著作権講習会



電子教材開発者向け講習会

展示会・講演会 Exhibitions & Seminars

17世紀の日欧交流における医学と医療

● 展示会 (第59回附属図書館貴重文物展示)

【期 間】令和4年10月6日(木)～令和5年3月31日(金)
 【開場時間】平日9:00～17:00
 【場 所】九州大学医学図書館1F展示室
 【監 修】ヴォルフガング・ミヒエル(九州大学名誉教授)
 【主 催】九州大学附属図書館
 【展示会図録】<http://hdl.handle.net/2324/4842511>
 【電子展示】<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/exhibition/michelcollection>

【参加者】73名(対面28名/オンライン45名)
 【資料】<http://hdl.handle.net/2324/5068320>
 【動画】https://youtu.be/H4Lk_ZmVVUCU

附属図書館創立百周年と医学図書館グランドオープンを記念して、第59回九州大学附属図書館貴重文物展示「17世紀の日欧交流における医学と医療」と関連講演会を医学図書館で開催しました。

ヴォルフガング・ミヒエル名誉教授により蒐集された医学・薬学・本草学関連の古書群(ミヒエル文庫)を中心とした約50点の資料を展示しました。講演会では、展示監修も務めていただいたミヒエル名誉教授に、東西の版本・写本を蒐集し読み解く中で明らかになった、17世紀のヨーロッパと日本の医学交流の軌跡についてご講演いただきました。

● 講演会 (第46回貴重文物講習会)

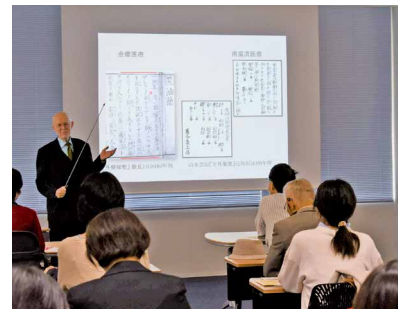
【日 時】令和4年10月27日(木) 15:00～16:30
 【会 場】九州大学医学図書館1Fアクティブラーニングルーム(オンライン同時配信)
 【講演者】ヴォルフガング・ミヒエル(九州大学名誉教授)



電子展示



展示室の様子



講演会の様子

中央・理系図書館での展示

中央図書館及び理系図書館では、エントランスを展示スペースとして活用しています。

令和4年度は、本学に寄託されている麻生家文書の小展示を実施(p.8)したほか、令和3年度に引き続き、学生サークル・団体による作品展示を行うなど、活動成果発表の場を提供しています。

また、図書館TA(Cuter)によるおすすめ本展示の他、職員選書によるテーマ展示を随時行っているほか、令和4年度は学内イベントや館内で実施する授業に関連した展示も企画しました。



高等研究院講演会との連携展示(中央)

● 学生団体による作品展示

- 令和4年 4月 模型部(中央)
- 令和4年 11月 折り紙同好会ORUTO(中央・理系)
- 令和5年 1月 模型部(理系)
- 令和5年 2月 写真部(中央)



九大模型部の作品展示(理系)



職員選書展示(ハロウィン)(理系)

麻生家文書 小展示・電子展示・貴重文物講習会

● 小展示・電子展示「麻生家文書」とその世界

【期 間】令和4年12月8日(木)～12月25日(日)
 【会 場】九州大学中央図書館3Fエントランス
 【監 修】原口大輔(九州大学附属図書館付設記録資料館 講師)
 【主 催】九州大学附属図書館付設記録資料館
 【電子展示】<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/exhibition/asoarchive>

● 講演会「麻生家文書」の「二重」の整理過程(第47回貴重文物講習会)

【日 時】令和4年12月23日(金) 13:00～14:30
 【会 場】九州大学中央図書館4F Sky Cute.Commons(オンライン同時配信)
 【講演者】原口大輔(九州大学附属図書館付設記録資料館 講師)
 【参加者】84名(対面14名/オンライン70名)
 【資 料】<https://hdl.handle.net/2324/6617990>

九州大学に寄託された「麻生家文書」は、福岡藩の庄屋で、筑豊御三家の一つとして石炭産業をけん引した麻生家と、同家が経営した関連会社に由来する膨大な史料群です。令和2年8月、「麻生家文書」の整理・

研究を大幅に加速させるため、附属図書館付設記録資料館は、株式会社麻生からの寄附金を活用して麻生家文書研究部門を新設し、「麻生家文書」の目録データベースの公開や重要史料の電子化公開による研究基盤の創出、「麻生家文書」を核とする石炭産業をめぐる包括的研究の推進を目指しています。

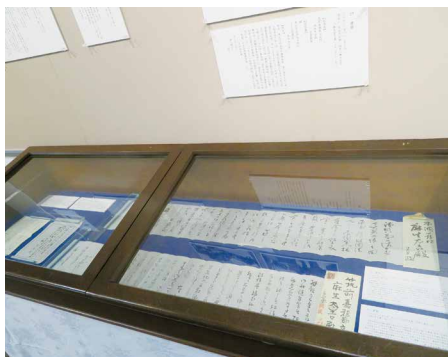
令和4年11月の「麻生家文書」目録データベース(第1回目22,439点)の公開を機に、電子展示と中央図書館での小展示、及び講演会を開催しました。

電子展示では、これまで整理された「麻生家文書」の中から、約40点を公開しています。出陳史料の選定・史料翻刻・解説の執筆は、原口講師のほか、史料整理を行う学生たちが分担しています。小展示では、電子展示で公開したものの中から、特徴的な史料15点を展示しました。

講演会では、戦前から続く麻生家・麻生本家の文書整理から、九大が整理を始めてこんにちに至るまでの整理過程を通時的に見ていくことで、「麻生家文書」の史料群としての特徴やその構造をお話いただきました。オンライン同時配信を行ったことで、全国から多くの方々にご参加いただき、参加者からは「麻生家文書のユニークさ、整理の意義が大変よく分かり、充実した講演でした」と大変好評でした。



電子展示「麻生家文書」とその世界



小展示「麻生家文書」とその世界



講演会「麻生家文書」の「二重」の整理過程

図書館TA(Cuter)企画イベント

図書館に自律的な学びの雰囲気を生み出すため、大学院生の図書館TA(Cuter)が自身の専門知識や経験を活かしたイベントを、図書館職員と協働して企画・実施しています。

〈主なイベント〉

● Cuter Café

図書館TA(Cuter)が特定テーマについて取り上げるシリーズ企画です。令和4年度は、「Microsoft Word スキルアップ講座」「Microsoft Excel入門講座」「はじめてのR講座」「はじめてのLaTeX講座」「初級者向けPython講座」「レポートの書き方講座 Spin-off」「(理系向け)博士による、博士のための、進学・就活ガチトーク!」など、多様なテーマで計12回開催しました。

● Quricon

学部・学府・学年の垣根を越えて研究交流を図る学際交流イベントです。令和4年度は、「時間とは何か」をテーマに、物理学・心理学・文学の観点から話題を提供するプレゼンテーションおよびパネルディスカッションを中央図書館で開催しました。

● ブックレビューコレクション

図書館利用者による九大蔵書の紹介文(ブックレビュー)を募集し、中央図書館内にブックレビューと図書を展示する企画です。ブックレビューは、館内の柱や壁などにPOPとして掲示するほか、Cute.Guides上で紹介しています。



博士による、博士のための、進学・就活ガチトーク!



ブックレビューコレクション
中央図書館内POP

国際化 Internationalization

ソウル大学校図書館とのドキュメントデリバリーに関する協力協定を締結

ソウル大学校図書館とのドキュメントデリバリーに関する協力協定を締結しました。この協定により、本学に所属する学生・教職員は、ソウル大学校中央図書館の所蔵資料のコピーを本学中央図書館に無償で一定の件数取り寄せることができます。同様に、ソウル大学校に所属する学生・教職員も、同校中央図書館を通じて本学中央図書館の所蔵資料のコピーを取り寄せることができます。

これまで、日韓の大学図書館間のドキュメントデリバリーは、日本側の国立情報学研究所および韓国側の韓国教育学位情報院のシステムを相

互に結んで、実施されてきました。しかし、この両国のシステム間接続は、令和4年3月に運用コストの面等から全国的に廃止となりました。そこで、附属図書館では、職員交流等を行ってきたこれまでの信頼関係を活かし、個別にソウル大学校図書館と新たなドキュメントデリバリーの協力関係を結びました。

今後も、ソウル大学校図書館とは、お互いに研究環境を向上させるよう、継続的なコミュニケーションを通じて、協力関係を深めていきます。



海外往来

【訪問者】石田栄美(研究開発室准教授)
【日 程】令和4年9月18日~10月2日
【訪問先】イリノイ(アメリカ)
【目 的】イリノイ大学アバナ・シャンペーン校の大学図書館と情報学研究科(iSchool)での調査研究

【訪問者】石田栄美(研究開発室准教授)
【日 程】令和4年11月29日~12月3日
【訪問先】ハノイ(ベトナム)
【目 的】ICADL & AP-iConference 2022 への参加

【訪問者】西真里恵(eリソース課eリソース管理係員)
宮崎祐汰(eリソース課eリソース管理係員)
【日 程】令和5年2月27日~3月1日
【訪問先】メルボルン(オーストラリア)
【目 的】メルボルン大学図書館訪問、EBSCO社アドバイザーボード会議への出席、EBSCO社オーストラリアオフィス主催 Library Perspectives Forumへの参加

【訪問者】安田さくら(学術サポート課 学習・研究支援係員)
【日 程】令和5年3月18日~3月27日
【訪問先】イリノイ、ミシガン(アメリカ)
【目 的】イリノイ大学訪問、ミシガン大学訪問、研究データ管理サービスに関する調査

国際会議等(オンライン)

【参加者】渡邊由紀子(次長・准教授)
【日 程】令和4年11月30日~12月2日
【会 議】ICADL & AP-iConference 2022 (Online)

【参加者】渡邊由紀子(次長・准教授)
【日 程】令和5年3月13日~3月17日
【会 議】iConference 2023 Virtual

【参加者】渡邊由紀子(次長・准教授)
【日 程】令和5年3月15日~3月18日
【会 議】ACRL 2023 (Online)

◆講習会

学習・研究を行う上で必要な文献を効率よく探し活用できるよう、学生・教職員を対象に様々な講習会を開催しています。図書館側であらかじめ内容や日時を設定し広く参加を呼びかける「図書館企画」の講習会、教員等からの要望に応じて内容や日時を全てカスタマイズして行う「オンデマンド」の講習会を並行して実施しています。令和4年度は、新型コロナウイルスの影響が続く中、「図書館企画」の講習会は主にオンラインで開催しました。「オンデマンド」の講習会は、対面授業の増加に伴い対面での開催が増加した一方で、オンライン講習会や図書館紹介資料の提供等、遠隔授業への協力も継続して行いました。

〈注目の講習会等〉

● レポートの書き方講座/実験レポート講座/プレゼン講座

基幹教育の授業支援として図書館TA (Cuter) と協力して開催している講習会です。受講者にとって一層満足度の高い講座にするために、図書館TA (Cuter) と図書館職員が議論を重ね、内容をブラッシュアップしています。令和4年度は、レポート・実験レポート講座はオンライン、プレゼン講座は主に対面で実施し、レポート・実験レポート講座では、開催1回あたりの受講者数が過去最多となりました。eラーニング教材も令和2年度より継続して提供しました。

● 文献の探し方講座

日本語・英語文献を探す検索ツールの活用法に関する講習会です。中央・理系・医学図書館が連携し、受講者の専門分野に応じた講習を提供しています。留学生を対象に英語での講習も行っています。令和4年度は、令和3年度と同様にオンラインで実施し、前期・後期の受講者数合計が過去最大の628名を記録しました。

● 新入留学生向け図書館ツアー

九州大学へ10月に入学する留学生を対象に、図書館TA (Cuter) が中央図書館を案内するツアーを、国際部との連携により実施しました。新

◆Cute.Guides

Cute.Guidesは附属図書館がWeb上で提供する調べ方ガイド・学習ガイドです。平成25年3月の正式公開以来、図書館職員や図書館TA (Cuter) が様々なコンテンツを作成し、テーマごとの解説とともに参考図書等の役立つ情報源を紹介しています。

図書館ウェブサイト>Cute.Guides

<https://guides.lib.kyushu-u.ac.jp>

ガイド総数 216点 (令和5年3月31日現在)

アクセス数 1,737,720ページビュー (令和4年度)



〈令和4年度に公開した主なガイド〉

● サステナブルファッションのすすめ

ファッションにおけるサステナビリティ(持続可能性)について解説したガイドです。ファストファッションの流行に伴う、生産・流通・廃棄過程での環境や社会への影響に意識を向け、消費者としてできることを紹介しています。

令和4(2022)年度実績

●種類別

会場	図書館企画		オンデマンド		計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
伊都(中央)	7	107	20	3,251	27	3,358
伊都(理系)	0	0	11	417	11	417
病院	3	15	5	154	8	169
芸工	0	0	0	0	0	0
筑紫	0	0	0	0	0	0
全地区(オンライン)	46	1,436	0	0	46	1,436
合計	56	1,558	36	3,822	92	5,380

●受講者別

会場	受講者数					計
	教職員	院生	学部生	学内その他	学外者	
伊都(中央)	37	44	3,164	3	110	3,358
伊都(理系)	7	94	316	0	0	417
病院	14	19	136	0	0	169
芸工	0	0	0	0	0	0
筑紫	0	0	0	0	0	0
全地区(オンライン)	144	419	815	58	0	1,436
合計	202	576	4,431	61	110	5,380

●実施言語別

言語	回数	受講者数
日本語	76	4,917
英語	16	463

●講師別

講師	回数	受講者数
図書館職員	67	4,552
Cuter	12	595
図書館職員・Cuter	5	93
外部講師	8	140

●eラーニング教材

講座名	実施言語	講師	受講者数
レポートの書き方講座	日本語	Cuter	83
実験レポート講座	日本語	Cuter	44
プレゼン講座	日本語	図書館職員・Cuter	16
文献の探し方講座	日本語	図書館職員	100
How to search for academic papers	英語	図書館職員	27

型新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和元年9月以来3年ぶりの開催となりました。

● 伊都キャンパスにある遺跡とその物語

伊都キャンパスがある福岡市西区元岡・桑原地区は、多くの遺跡が存在することで知られ、キャンパス内にも古墳が点在しています。校舎の間を歩きながら、太古の昔に思いを馳せるきっかけになるガイドです。

● 歴史から見た文房具～九大で買える鉛筆・シャープペンシルのすごさについて～

文房具が大好きな図書館TA (Cuter) が、九州大学の中で買える鉛筆とシャープペンシルについて熱く語ったガイドです。文房具の誕生や技術進化をめぐるドラマチックな歴史や、各製品の魅力を知ることができます。

● HTML/CSSによる文書の作成とデザイン

ウェブページの記述や装飾に使用されるHTMLとCSSについて、基本的な文法や使用例を分かりやすく説明しています。ガイド自体も様々な技術を駆使して作成しており、コードをコピー&ペーストすれば、同じデザインをすくんに再現でき実用的です。

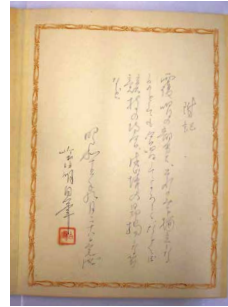
新規コレクション

◆寄贈コレクション

●九大医学部歯科口腔外科教室歌(歌詞と楽譜)

数々の名曲を生み出した北原白秋と山田耕筰による医学部歯科口腔外科教室歌の自筆原稿を、歯学研究院より医学図書館にご寄贈いただきました。口腔外科で代々大切に引き継がれていたもので、歯学研究院長室に保管されていました。

歌詞には末尾に北原白秋の自筆を示す「薄明自筆」の書き込みがあり、また楽譜には山田耕筰特有の独特の飾り文字サインもみてとれます。このお二方による教室歌は唯一のもの、医学図書館リニューアルオープンの際には令和4年10月から令和5年1月まで特別に展示も行いました。



デジタルアーカイブ

当館では、本学が所蔵する貴重資料・記録資料等の目録データや画像を「貴重資料デジタルアーカイブ」及び炭鉱・麻生家文書・蔵書印等のデータベースからインターネット公開しています。

本年度は、国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」連携拠点大学として、和本1,535点2,456冊をデジタル化しました。同資料館の「国書データベース」及び当館の「貴重資料デジタルアーカイブ」から順次公開します。ほかにも、学内教員の科研費等によりデジタル化された画像や第59回附属図書館貴重物展示「17世紀の日欧交流における医学と医療」(p.7)での電子展示のためにデジタル化された画像等を新規に公開しました。

〈主な新規公開コンテンツ〉

- ・ミヒエル文庫 26点
- ・杏仁醫文庫 140点
- ・唐詩解,唐詩三百首註疏, 唐詩集註 37点
- ・雅俗文庫(歴史物・小説等) 421点
- ・桑木文庫 等

令和4年度新規画像公開点数：4,306点195,632コマ
 累積の画像公開点数：19,822点643,784コマ(令和5年3月31日現在)
 令和4年度アクセス件数：289,234件(画像未登録の目録データへのアクセスも含む)



『安政見聞誌』(桑木文庫)
<https://hdl.handle.net/2324/6632149>



『灸穴早合点』(ミヒエル文庫)
<https://hdl.handle.net/2324/4795984>

●台湾National Central Library (NCL)との漢籍デジタル化協同プロジェクト

NCLからの資金提供を受けて、本学所蔵の漢籍21点240冊をデジタル化しました。NCL「古籍與特藏文獻資源」及び当館の「貴重資料デジタルアーカイブ」から順次公開します。



『春秋胡伝』
 (明嘉靖35年刊 近藤畏斎旧蔵)



『龍図公案』
 (明末刊)

九州大学学術情報リポジトリ(QIR)

学内研究成果の収集・蓄積・保存・公開を目的として平成18年に開設されました。開設当時よりも公開可能なコンテンツの種類を充実させ、多様な研究成果の公開に取り組んでいます。

●令和4年度新規登録コンテンツ

令和4年度新規登録件数	4,563件
うち	
>OA方針対象コンテンツ	2,647件
>Q-RADeRSからの登録	314件
累積登録件数	54,855件(令和5年3月31日現在)
利用件数	4,169,038件(令和4年度)

※OA方針対象コンテンツ：学術雑誌論文・会議発表論文・紀要論文

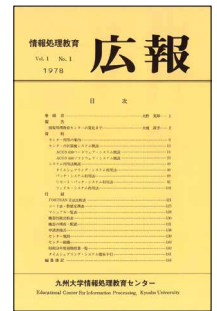
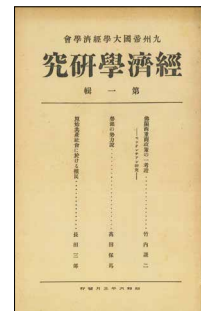
〈令和4年度に公開した主なバックナンバー〉

- ・『雅俗』(雅俗の会)1-19巻(平成6(1994)年-令和2(2020)年)
- ・『経済学研究』(九州大学経済学会)1-67号(昭和6(1931)年-平成13(2001)年)
- ・『情報処理教育広報』(九州大学情報処理教育センター)1-22巻(昭和53(1978)年-平成11(1999)年)

〈令和4年度に公開した特徴あるコンテンツ〉

『ESAKIA』(九州大学大学院農学研究院昆虫学教室)

九州大学農学研究院昆虫学教室開設百年を記念する特別号として、8年ぶりに最新号(55号)が発行されました。QIRで全論文を公開しています。



●研究データ公開への対応

本学の研究データの公開を促進するため、附属図書館では、令和3年度よりQIRによる研究データ公開のための体制・規程類の整備を進めてきました。令和4年度は、システム基盤整備として九大コレクションの公開用ストレージを90TBまで増強しました(従来のおよそ30倍)。また、研究データの登録・公開を検討している研究者に向けて、図書館Webサイト上に案内ページを公開しました。附属図書館における、研究データ管理・公開支援に係る取り組みについては、「図書館DX支援室の設置及び研究データ管理への対応」(p.5)も併せてご覧ください。

QIRにおける研究データの公開：<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/services/open/qir/researchdata>

●メタデータのオープン化

QIRでは、公開コンテンツのさらなる利活用を促進するため、メタデータをオープン化し、第三者による自由な利用に供することとしました。対象となるのは、九州大学の刊行物に掲載されたコンテンツです。その一環として、令和5年3月には、約200誌分、4万件を超えるメタデータを、データセットの形で公開しました。公開したデータは、どなたでも自由にご利用いただけます。

データセット公開ページ：<https://doi.org/10.48708/6625737>

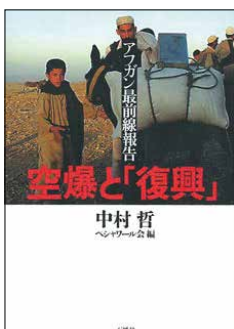
◆中村哲著述アーカイブ

令和3年3月公開

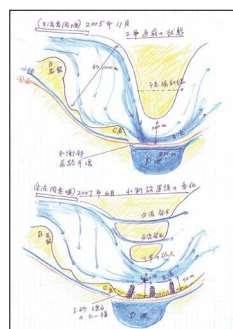
本アーカイブは、中村哲医師が著した文章や発言、活動記録などを蓄積し、インターネット上で公開するものです。

令和4年度は一般に流通していない著書の本文公開や講演資料の充実に加え、肉声カセットテープや用水路の手書き図面、書簡など、氏の人柄と当時の活動の様子を伝える資料を含む454件を登録しました。累計コンテンツ数は1,146件となりました。(令和5年3月31日現在)

またKBC九州朝日放送より「良心の実弾」ほか映像作品を、本学での教育・研究利用のためにご提供いただきました。



『空爆と「復興」』(石風社、平成16(2004)年)
現在流通していない本書の全文を公開中。
<https://hdl.handle.net/2324/4772331>



マルワリード用水路C-D区の護岸対策工事前後で川の流れの変化を比較する図。(平成19(2007)年)
<https://hdl.handle.net/2324/4844373>

令和4年度研究開発室研究開発事項

● 総括

研究開発の総括	谷口倫一郎（附属図書館長、理事、副学長）	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括する。
---------	----------------------	---

● I 学習・教育活動との連携に関する分野

図書館による学習・教育支援に関する調査研究	富浦 洋一（副館長） 石田 栄美（データ駆動イノベーション推進本部） 山田 政寛（基幹教育院） 内山 英昭（特別研究員）	九州大学における学習・教育活動と連携した新たな教育支援のあり方について調査研究を行うとともに、図書館利用状況の分析にもとづく、新たなサービスの創出に関する調査研究を行う。
図書館による教材開発および著作権処理に関する調査研究	岡田 義広（付設教材開発センター） 吉田 素文（特別研究員）	インストラクショナルデザインに基づいた教材、教育方法の研究開発と、教材作成にかかる著作権処理問題について調査研究を行う。

● II コンテンツ形成および学術情報発信に関する分野

九州大学所蔵資料および資料保存に関する調査研究	川平 敏文（人文科学研究院） 中里見 敬（言語文化研究院） 永島 広紀（韓国研究センター） 赤司 友徳（大学文書館） 三輪 宗弘（付設記録資料館） 梶嶋 政司（付設記録資料館） 平 将志（付設記録資料館） Wolfgang Michel（特別研究員） 和仁 かや（特別研究員） 古賀 康士（特別研究員） 原口 大輔（付設記録資料館）（協力教員）	九州大学が所蔵する貴重資料、コレクション等について、由来や内容、価値等の調査や、画像及び書誌データベース作成等についての調査研究を行うとともに、図書館における資料保存・管理体制等についての調査研究を行う。
図書館に係る学術情報の流通および発信に関する調査研究	富浦 洋一（副館長） 清水 敏之（研究開発室） 石田 栄美（データ駆動イノベーション推進本部） 畑埜 晃平（基幹教育院） 池田 大輔（システム情報科学研究院） 内山 英昭（特別研究員）	学術情報資源（研究データ等を含む）をより効果的に蓄積・発信するために、管理・発信機能の高度化と検索システムに関する研究開発を行うとともに、それらを活用した新たなサービスの創出に関する調査研究を行う。

● III 図書館運営に関する分野

図書館における高度専門知識を有する人材育成に関する調査研究	石田 栄美（データ駆動イノベーション推進本部） 岡崎 敦（人文科学研究院）	国内外の図書館の動向を踏まえつつ、図書館職員の専門性および次世代を担う情報専門職の育成をはかるための調査研究を行う。
-------------------------------	--	--

第45回貴重文物講習会「資料探訪 廣瀬文庫本『筑前名所図会』について」

研究開発事項「九州大学所蔵資料および資料保存に関する調査研究」の一環として、廣瀬文庫本『筑前名所図会』の調査・整理が進められています。作業に関わる図書館職員2名を講師として、第45回貴重文物講習会「資料探訪 廣瀬文庫本『筑前名所図会』について」が開催されました。

第一部「廣瀬文庫本『筑前名所図会』の復元」では、廣瀬文庫の歴史、当資料の来歴と檜垣文庫との関わり、資料の復元について解説がなされました。また、電子データ化による活用など、整理・復元により期待できる当資料の利用可能性についても紹介されました。

第二部「探訪『筑前名所図会』」では、『筑前名所図会』の地誌的価値について解説がありました。他地域の名所図会との比較や、諸本と廣瀬文庫本との比較を通して、廣瀬文庫本『筑前名所図会』の特質や資料的

意義、今後の調査で期待される展望について解説がなされました。

今回は、所蔵資料への理解を深めることを目的とし、図書館職員を対象にオンライン形式で実施されました。受講者アンケートでは、テーマとして採り上げてほしい資料が複数挙がるなど、今後につながる内容となりました。

【開催日】令和4年6月9日（木）13：30～15：00

【会場】九州大学中央図書館4F会議室（オンライン配信）

【講演者】山根泰志（附属図書館図書館企画課企画係）

中村智晴（附属図書館収書整理課雑誌情報係）

【参加者】延べ56名

ソウル大学校との職員交流プログラム

【日 程】令和4年9月22日(木) 11:00~15:00

【場 所】中央図書館4F会議室

【参加者】九州大学附属図書館10名
ソウル大学校図書館2名



本学はパートナー校であるソウル大学校と、年に1度のジョイントシンポジウムSNU-KYUSHU JOINT SYMPOSIUMを開催しています。令和3年度まではコロナ禍ということもありオンライン形式のみの開催でしたが、令和4年はソウル大学校から多数の参加者が国境を越えて本学伊都キャンパスに集う念願のオンサイト開催となりました。

附属図書館では本シンポジウムの一環である職員交流プログラムに参画しました。同プログラムは、両大学の職員交流を通じて、グローバルな大学運営の現状に関する視野を広げ、業務改善と課題解決に向けたアイデア創出を目指すことを目的としたものです。ソウル大学校の図書館より2名の職員を本学中央図書館に迎え入れ、ドキュメントデリバリーサービス、eリソースなどをテーマに、各々の取組や今後の展望等についてプレゼンテーションおよび意見交換を行いました。日本における著作権法の改正の影響や今後の展望、互いの機関リポジトリや業務システム等について強い関心がみられました。時間が足りなくなるほど活発に意見交換が行われ、自らの業務を見つめなおし、また相互の理解を深められる良い機会となりました。

ライブラリーサイエンス専攻シンポジウム

【日 時】令和5年1月11日(水)

【題 目】DX時代の情報管理と人材養成 —ライブラリーサイエンス専攻の挑戦—

【会 場】九州大学伊都キャンパス イースト1号館C-203会議室、オンライン

【主 催】九州大学大学院人文科学研究院、九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻

【共 催】九州大学附属図書館、九州大学人社系協働研究・教育コンズ

人文科学研究院、統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻主催で、シンポジウム「DX時代の情報管理と人材養成 —ライブラリーサイエンス専攻の挑戦—」が開催されました。

講演動画、発表資料、シンポジウム報告書をそれぞれ公開しています。

講演動画：<https://www.ifs.kyushu-u.ac.jp/lss/2023/02/22/symposium20230111video/>

発表資料：<https://hdl.handle.net/2324/6757889>

シンポジウム報告書：<https://hdl.handle.net/2324/6776447>

令和4年度国立大学図書館協会地区協会助成事業

【日 時】令和4年12月8日(木) 14:00~16:00

【テ マ】大学図書館におけるSNS活用と情報発信

【実施方法】web講演(ZOOM およびYouTubeにて開催)

【主 催】九州地区国立大学図書館協会

【共 催】九州地区大学図書館協議会

【講 師】前田めぐる氏(Value Promotion)

【申 込 者】104名(申込制のオンライン講演)

令和4年度国立大学図書館協会地区協会助成事業として、「大学図書館におけるSNS活用と情報発信」セミナーをオンラインで開催しました。

本セミナーは、大学図書館からのSNSを活用した情報発信やそのリスク管理に関する知識習得を目的として、大学図書館職員を対象に開催したものです。

報告資料は下記URLで公開しています。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/materials/kenshu>

令和4年度初任者研修

【開 催 日】令和4年5月13日(金)~17日(火)

【実施方法】対面+オンライン講義

【受 講 者】全日程受講者7名

新任図書系職員に対し、九州大学附属図書館の理念、目標や現在取り組んでいる主な事業等を理解させるとともに、図書館業務遂行に必要な基礎知識を習得させることを目的として実施しています。令和4年度は対面とオンライン配信を並行し、オンラインでは初任者以外の職員の一部受講も多くなりました。日々の業務を俯瞰できる有意義な機会となりました。

【プログラム】九州大学附属図書館の特徴と課題

図書館企画課の業務

収書整理課の業務

貴重書室見学

ネットワークとセキュリティ

学術サポート課の業務

利用者サービス課の業務

記録資料館見学

教材開発センター見学

eリソース課の業務

センパイと話そう

統計 = 利用サービス = Statistics

令和4(2022)年度

			中央図書館 Central Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	理系図書館 Science and Technology Lib.	合計 Total
年間開館日数 Opening days (日)	平日 Weekday		238	216	227	238	238	1,157
	土曜 Saturday		49	22	30	49	49	199
	日曜・祝日 Others		60	30	0	0	60	150
	合計 Total		347	268	257	287	347	1,506
入館者数 Visitors (人)	教職員 Faculties		17,865	5,134	1,007	2,536	13,023	39,565
	学生 Students		252,594	63,062	5,035	9,672	199,974	530,337
	学外者 Others		6,150	884	26	236	926	8,222
	合計 Total		276,609	69,080	6,068	12,444	213,923	578,124
貸出冊数 Circulations(Items) (冊)	教職員 Faculties		19,131	2,656	1,152	2,045	10,362	35,346
	学生 Students		84,335	3,780	7,151	5,508	49,820	150,594
	学外者 Others		442	174	78	116	141	951
	合計 Total		103,908	6,610	8,381	7,669	60,323	186,891
貸出者数 Circulations(Users) (人)	教職員 Faculties		10,350	1,224	622	1,491	6,459	20,146
	学生 Students		47,237	2,438	3,263	3,871	32,225	89,034
	学外者 Others		273	72	34	64	90	533
	合計 Total		57,860	3,734	3,919	5,426	38,774	109,713
文献複写等件数 Resource Sharing(copies) (件)	学外からの受付(国内) Requests(Domestic)		2,556	2,628	7	12	646	5,849
	学外からの受付(国外) Requests(International)		24	0	0	0	0	24
	小計 Subtotal		2,580	2,628	7	12	646	5,873
	学内からの受付 Request within KU (内、E-DDS件数) (E-DDS of above)		530	285	13	14	245	1,087
	合計 Total		3,110	2,913	20	26	891	6,960
	(うち謝絶) (cancel)		350	386	2	4	39	781
	学外への依頼(国内) Received(Domestic)		3,152	2,027	415	114	399	6,107
	学外への依頼(国外) Received(International)		375	236	36	19	196	862
	合計 Total		3,527	2,263	451	133	595	6,969
	(うち謝絶) (cancel)		161	40	18	14	14	247
	NDL閲覧 Browse(NDL)		71	2	6	0	7	86
	NDL複写 Copies(NDL)		137	0	9	0	9	155
合計 Total		208	2	15	0	16	241	
相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) (件)	学外からの受付(国内) Borrows(Domestic)		1,696	13	2	20	180	1,911
	学外からの受付(国外) Borrows(International)		0	0	0	0	0	0
	合計 Total		1,696	13	2	20	180	1,911
	(うち謝絶) (cancel)		365	1	0	3	11	380
	学外への依頼(国内) Loans(Domestic)		1,236	26	60	13	104	1,439
	学外への依頼(国外) Loans(International)		0	0	1	0	0	1
合計 Total		1,236	26	61	13	104	1,440	
(うち謝絶) (cancel)		38	5	3	4	3	53	
レファレンス件数 Reference inquiries (件)	教職員 Faculties		191	14	10	89	151	455
	学生 Students		1,110	29	71	127	1,007	2,344
	学外者 Others		488	25	0	72	119	704
	合計 Total		1,789	68	81	288	1,277	3,503
	所在調査 Holdings		431	16	50	51	288	836
	事項調査 Topics		100	11	5	60	46	222
	利用指導・その他 Instructions /Others		1,258	41	26	177	943	2,445
合計 Total		1,789	68	81	288	1,277	3,503	

文献複写・相互貸借件数には謝絶も含む
NDLは、国立国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」を示す

電子ジャーナルの利用 (主要パッケージのフルテキストダウンロード数)

E-Journals

Full-text downloads in major e-Journal packages

2022.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	553,806	Nature Site License	612,754
American Institute of Physics (AIP)	76,353	ProQuest Central	41,316
American Physical Society (APS)	38,768	Science online	82,048
Elsevier ScienceDirect	1,562,196	SpringerLink	213,041
IEEE POP	20,903	Wiley Online Library	710,226
JSTOR Arts & Sciences I, II	37,032	合計 Total	3,948,443

*利用件数にはオープンアクセス論文のダウンロードも含む

電子ブックの利用 (主要プラットフォームの利用件数)

E-books

Number of use in major e-book platforms

2022.1.1-12.31

プラットフォーム名称 Platform	利用件数 Access	プラットフォーム名称 Platform	利用件数 Access
EBSCOhost	4,598	ProQuest Ebook Central	10,716
KinoDen	1,955	ScienceDirect	3,681
JapanKnowledge	301,271	SpringerLink	25,173
Maruzen eBook Library	28,114	Wiley Online Library	2,763
Oxford University Press	1,936		

*利用件数の数値は、各プラットフォームごとで基準が異なる

情報検索サービスの利用

Databases

2022.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	説明 Description	検索回数 Searches	セッション数 Sessions
ディスカバリサービス Discovery services	九大コレクション	ディスカバリ(ローカル)	1,372,925	—
	Web of Science	全分野	263,621	—
	Scopus	全分野	187,384	—
文献情報 Abstracts & index databases	医中誌Web	医学	119,907	49,473
	Business Source Complete (EBSCOhost)	経済・経営学	52,644	22,230
	Econlit (EBSCOhost)	経済学	52,097	21,060
	CINAHL (EBSCOhost)	看護学	53,649	20,979
	PsycINFO (Ovid)	心理学	2,395	676
	MEDLINE (Ovid)	医学	2,620	517
	EBM Reviews (Ovid)	医学	6,831	2,511
	ERIC (Ovid)	教育学	190	48
	JapanKnowledge	全分野	360,470	32,056
事典類 References	理科年表プレミアム	自然科学	—	165
	化学書資料館	化学	—	13,029
	Oxford English Dictionary	言語	—	2,673
	研究社オンライン・ティクショナリー	言語	—	391
新聞 Newspaper articles	朝日新聞クロスサーチ	朝日新聞など	72,979	8,173
	西日本新聞データベース	西日本新聞	5,303	—
	毎索	毎日新聞など	6,060	2,102
	ヨミダス歴史館	読売新聞など	13,868	—
その他 Others	Journal Citation Reports	インパクトファクター	17,304	9,267
	きゅうとLinQ	リンクリゾルバ	215,607	—
	きゅうとE-Journals	電子ジャーナル集	14,893	—
	マイページ	図書館ポータル	—	339,179

学内配送サービスの利用 (図書の貸出・返却に学内配送システムを利用した回数)

Inter-campus book delivery

令和4(2022)年度

から from	へ to	中央図書館 Central Lib.	理系図書館 Science and Technology Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	計 Total
中央図書館 Central Lib.			7,871	1,415	2,396	873	12,555
理系図書館 Science and Technology Lib.		7,746		918	956	1,107	10,727
医学図書館 Medical Lib.		1,761	1,038		169	210	3,178
芸術工学図書館 Design Lib.		2,688	1,043	158		138	4,027
筑紫図書館 Chikushi Lib.		946	1,145	186	121		2,398
計 Total		13,141	11,097	2,677	3,642	2,328	32,885

統計 = 基盤サービス = Statistics

図書・雑誌(冊子体)の受入 Current acquisitions of materials

令和4(2022)年度

	図書受入冊数 Current acquisitions of books (冊)			雑誌受入種類数(冊子体) Current serials title (種)			
	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total	
中央図書館 Central Library	中央図書館 Central Library	9,369	3,425	12,794	572	46	618
	人文科学研究院 Faculty of Humanities	3,466	1,194	4,660	1,592	158	1,750
	人間環境学研究院 Faculty of Human-Environment Studies	523	128	651	345	67	412
	法学研究院※法務学府含む Faculty of Law	1,462	884	2,346	519	208	727
	経済学研究院 Faculty of Economics	553	276	829	376	124	500
	比較社会文化研究院 Faculty of Social and Cultural Studies	936	76	1,012	68	10	78
	言語文化研究院 Faculty of Languages and Cultures	997	198	1,195	7	15	22
	基幹教育院 Faculty of Arts and Science	116	51	167	5	0	5
	共創学部 School of Interdisciplinary Science and Innovation	0	0	0	0	0	0
	小計 Central Library Total	17,422	6,232	23,654	3,484	628	4,112
医学図書館 Medical Library	医学図書館 Medical Library	578	18	596	482	64	546
	医学研究院 Faculty of Medical Sciences	60	3	63	51	4	55
	歯学研究院 Faculty of Dental Science	0	0	0	9	10	19
	薬学研究院 Faculty of Pharmaceutical Sciences	0	0	0	8	0	8
	生体防御医学研究所 Medical Institute of Bioregulation	0	0	0	0	0	0
	病院(医・歯) University Hospital	6	2	8	168	44	212
小計 Medical Library Total	644	23	667	718	122	840	
芸術工学図書館 Design Library	932	145	1,077	237	32	269	
筑紫図書館 Chikushi Library	筑紫図書館 Chikushi Library	418	296	714	101	14	115
	総合理工学研究院 Faculty of Engineering Sciences	0	5	5	11	0	11
	応用力学研究所 Research Institute for Applied Mechanics	0	0	0	7	3	10
	先端物質化学研究所 Institute for Materials Chemistry and Engineering	0	0	0	2	0	2
	小計 Chikushi Library Total	418	301	719	121	17	138
理系図書館 Science and Technology Library	理系図書館 Science and Technology Library	3,543	454	3,997	100	17	117
	理学研究院 Faculty of Science	17	63	80	43	27	70
	数理学研究院 Faculty of Mathematics	69	1,237	1,306	28	286	314
	工学研究院 Faculty of Engineering	78	121	199	94	62	156
	システム情報学研究院 Faculty of Information Science and Electrical Engineering	40	62	102	25	15	40
	農学研究院 Faculty of Agriculture	215	141	356	309	239	548
	小計 Science and Technology Library Total	3,962	2,078	6,040	599	646	1,245
別府病院 Beppu Hospital	0	0	0	2	0	2	
記録資料館 Manuscript Library	139	9	148	52	0	52	
合計 Total	23,517	8,788	32,305	5,213	1,445	6,658	

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館の単位で大区分を行い、その中を部局・附置研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館の項目に計上している。

(注2) 統合新領域学府ユーザー感性学専攻、ライブラリーサイエンス専攻、韓国研究センター、留学生センター、EUセンターは、中央図書館の項目に計上している。

(注3) 統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所、マス・フォア・インダストリー研究所、情報基盤研究開発センターは、理系図書館の項目に計上している。

(注4) 図書受入冊数は、資産として受入された図書の冊数である。

資料費

Expenditures for library materials

令和4(2022)年度
(単位:千円/thousand yen)

		図書費	雑誌・新聞費	eリソース	その他	資料費総額
		Books	Serials	Electronic resources	Others	Total
中央図書館	Central Library	167,872	79,779	695,246	6,568	949,465
医学図書館	Medical Library	18,448	10,717	27,191	1,990	58,346
芸術工学図書館	Design Library	12,377	3,265	246	10	15,899
筑紫図書館	Chikushi Library	10,777	4,232	117	305	15,431
理系図書館	Science and Technology Library	63,104	62,091	25,791	3,020	154,005
別府病院	Beppu Hospital	0	55	177	0	232
記録資料館	Manuscript Library	1,958	69	0	30	2,058
合計	Total	274,537	160,207	748,769	11,922	1,195,436

(注1) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上。

(注2) eリソースにはEJ、DB、その他電子ツールを含む。

(注3) 資料費総額には、視聴覚資料・製本費等、その他の資料に関する費用も含む。

(注4) 情報基盤研究開発センターは理系図書館に計上。

電子ブック・電子ジャーナル

E-Books and E-Journals

令和5年(2023)年4月1日現在

アクセス可能な電子ブック(無料タイトル含む)

Accessible e-books (including free titles)

純タイトル数 Unique titles 230,312

アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む)

Accesible e-journals (including free titles)

純タイトル数 Unique titles 110,541

契約タイトル数

Licensed e-Journals

令和4年(2022)年度

出版社等	Publisher	タイトル数	Titles	出版社等	Publisher	タイトル数	Titles
American Chemical Society (ACS)		66		KISS: 人文・社会・語文・芸術・体育雑誌		1,524	
American Institute of Physics (AIP)		10		LexisNexis: Nexis Uni		11,332	
American Physical Society (APS)		11		Lippincott Williams and Wilkins (LWW)		33	
American Society of Mechanical Engineers (ASME)		33		Medical Online Library (MOL) *		1,552	
Association for Computing Machinery (ACM)		113		OECD iLibrary		141	
Cambridge University Press		45		Oxford University Press		49	
Cell Press		11		ProQuest Central		18,939	
Chemical Society of Japan (CSJ) *		2		Science (AAAS)		4	
CNKI: 中国学術雑誌(CAJ)		3,875		Springer Nature: Nature		32	
DBpia: 人文社会系パッケージ		1,247		Springer Nature: SpringerLink		68	
EBSCOhost: Business Source Complete		3,716		Taylor & Francis		70	
EBSCOhost: EconLit with Full Text		673		UniBio Press *		5	
Elsevier ScienceDirect		2,312		University of Chicago Press		4	
IEEE: ASPP Online, POP Online		299		Wiley Online Library		1,367	
IEICE *		8		World Scientific Publishing		4	
Institute of Physics (IOP)		15		日本物理学会(JPS) *		1	
JSTOR: Arts & Sciences Collection I-II		382		その他		387	
				合計	Total	48,330	

* 国内誌

蔵書数

Holdings

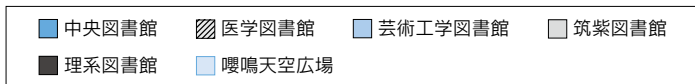
令和5(2023)年3月31日現在

		図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館	Central Library	1,642,206	893,865	2,536,071	27,320	10,894	38,214
医学図書館	Medical Library	138,683	174,585	313,268	2,821	6,978	9,799
芸術工学図書館	Design Library	125,192	48,749	173,941	1,892	922	2,814
筑紫図書館	Chikushi Library	63,654	67,045	130,699	511	1,097	1,608
理系図書館	Science and Technology Library	404,502	604,642	1,009,144	9,989	13,671	23,660
別府病院	Beppu Hospital	6,693	13,491	20,184	292	347	639
記録資料館	Manuscript Library	47,037	3,776	50,813	70	2	72
合計	Total	2,427,967	1,806,153	4,234,120	42,895	33,911	76,806

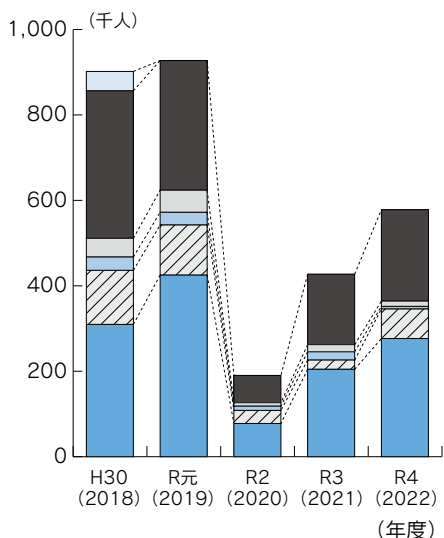
(注) 図書蔵書冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

統計 = 推移と分析 = Statistics

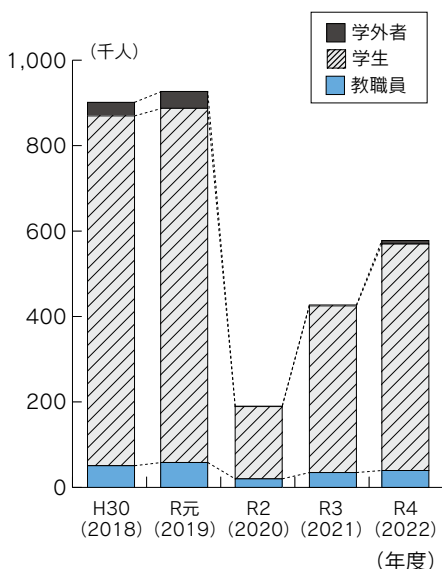
■ 利用サービスの推移



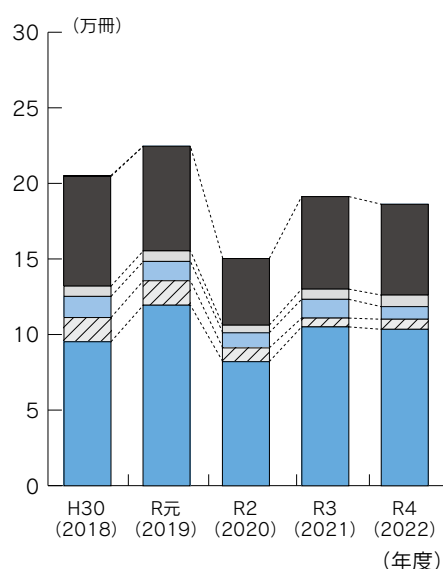
入館者数



身分別入館者数



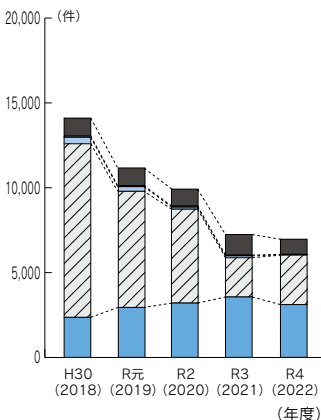
貸出冊数



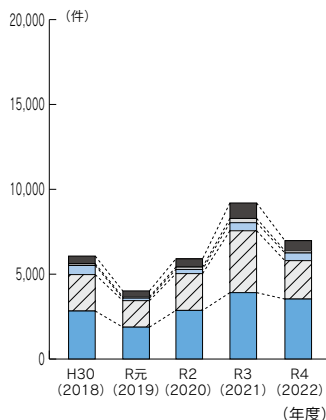
入館者数は、新型コロナウイルスの影響で極端に落ち込んだ令和2年度から、令和3年度に前年度比125%増、令和4年度に前年度比35%増と2年間で着実に回復しつつあります。特に学生の入館者数の変化が大きく、新型コロナウイルス対策の制限緩和、対面授業の本格的な再開も要因と考えられます。

これに対し、令和4年度の貸出冊数は僅かに減少に転じました。館別で見ると、前年度から入館者数が増えた中央図書館および理系図書館でも貸出冊数は微減となっています。また、改修工事の影響により、芸術工学図書館の貸出冊数は前年度比33%減でした。一方、医学図書館、筑紫図書館の貸出冊数は前年度から増加を見せています。

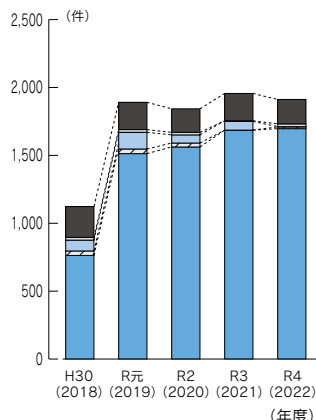
文献複写件数【受付】



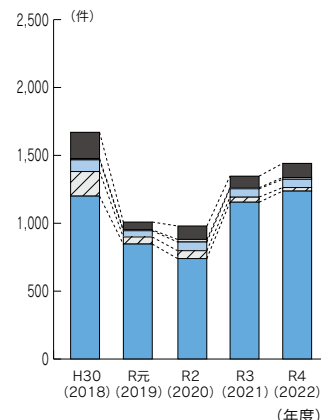
文献複写件数【依頼】



相互貸借件数【受付】



相互貸借件数【依頼】



受付 (学外機関・学外個人・学内利用者への文献コピーの提供) は、中央図書館を除き、直近5年間で全体的に減少傾向です。特に令和3年度からは医学図書館・芸術工学図書館・筑紫図書館で改修工事に伴う業務縮小が行われていることが影響しています。

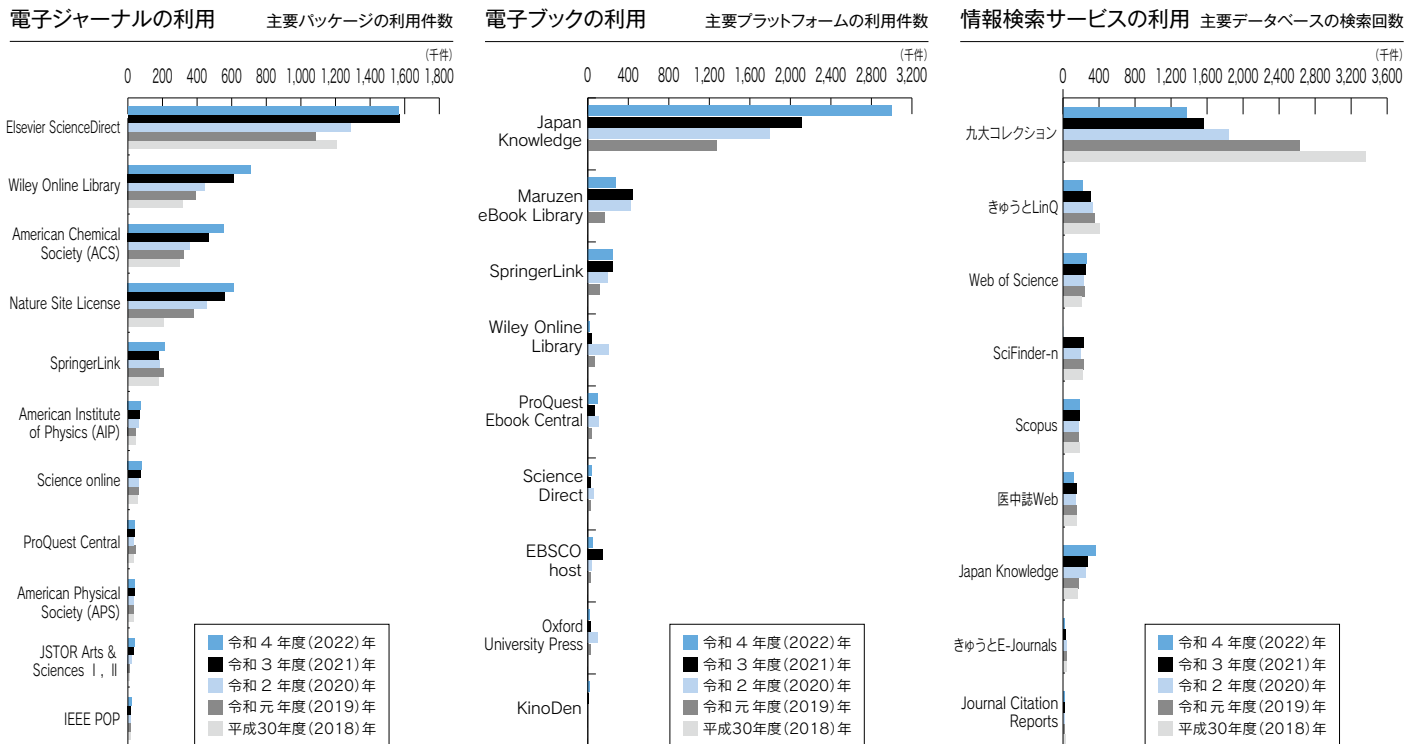
依頼 (学外機関からの文献コピーの取寄せ) は、直近5年間のうち、新型コロナウイルス感染症の「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の期間と大部分が重なった令和3年度に件数が最も多くなっています。授業や実験、診療活動などの制限が緩和されて日常に戻りつつあった令和4年度は、全体で前年度比25%減少したものの、コロナ前の水準に遜色ない件数です。令和2年度から実施している論文等コピーの取り寄せにかかる費用の補助事業が浸透し、研究活動を下支えているものと思われる。

受付 (学外機関への図書の貸出) は、キャンパス移転が完了した翌年の令和元年度から大幅に増え、現在では移転前と同様、学外機関からの多くのリクエストに安定的に応えています。

依頼 (学外機関からの図書の借受) との件数の比較においても、受付の方が大幅に上回っており、学術情報の相互利用の面で全国的に貢献し続けています。



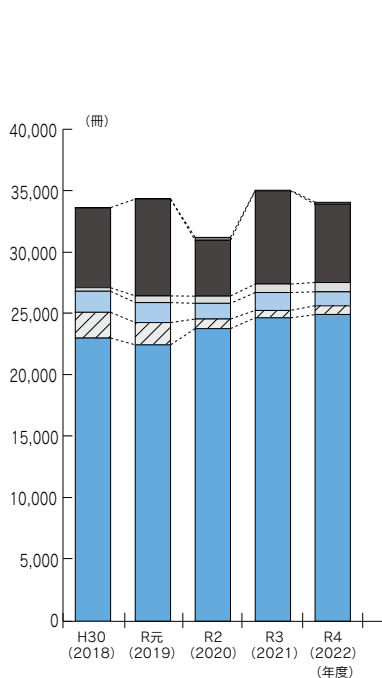
電子ジャーナル・電子ブック・情報検索サービスの利用の推移



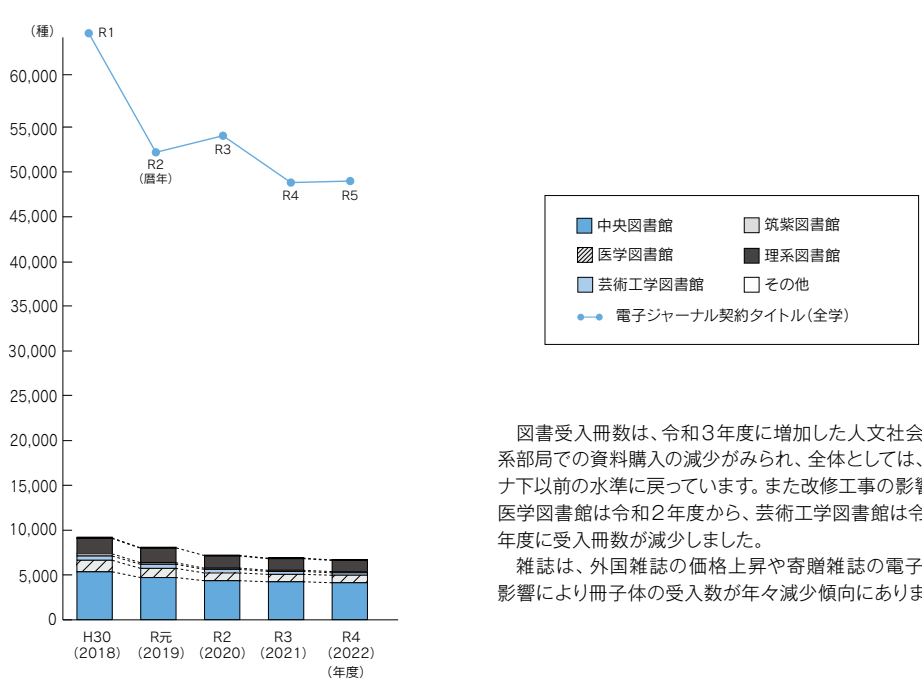
電子ジャーナルと情報検索サービスは安定した利用状況が続いています。特に主要出版社・学会の電子ジャーナルの利用が拡大傾向にあります。電子ブックについては、提供元ごとに傾向が異なりますが、前年より利用数が減少しているプラットフォームも見られます。

資料受入の推移

図書受入冊数



雑誌受入種類数

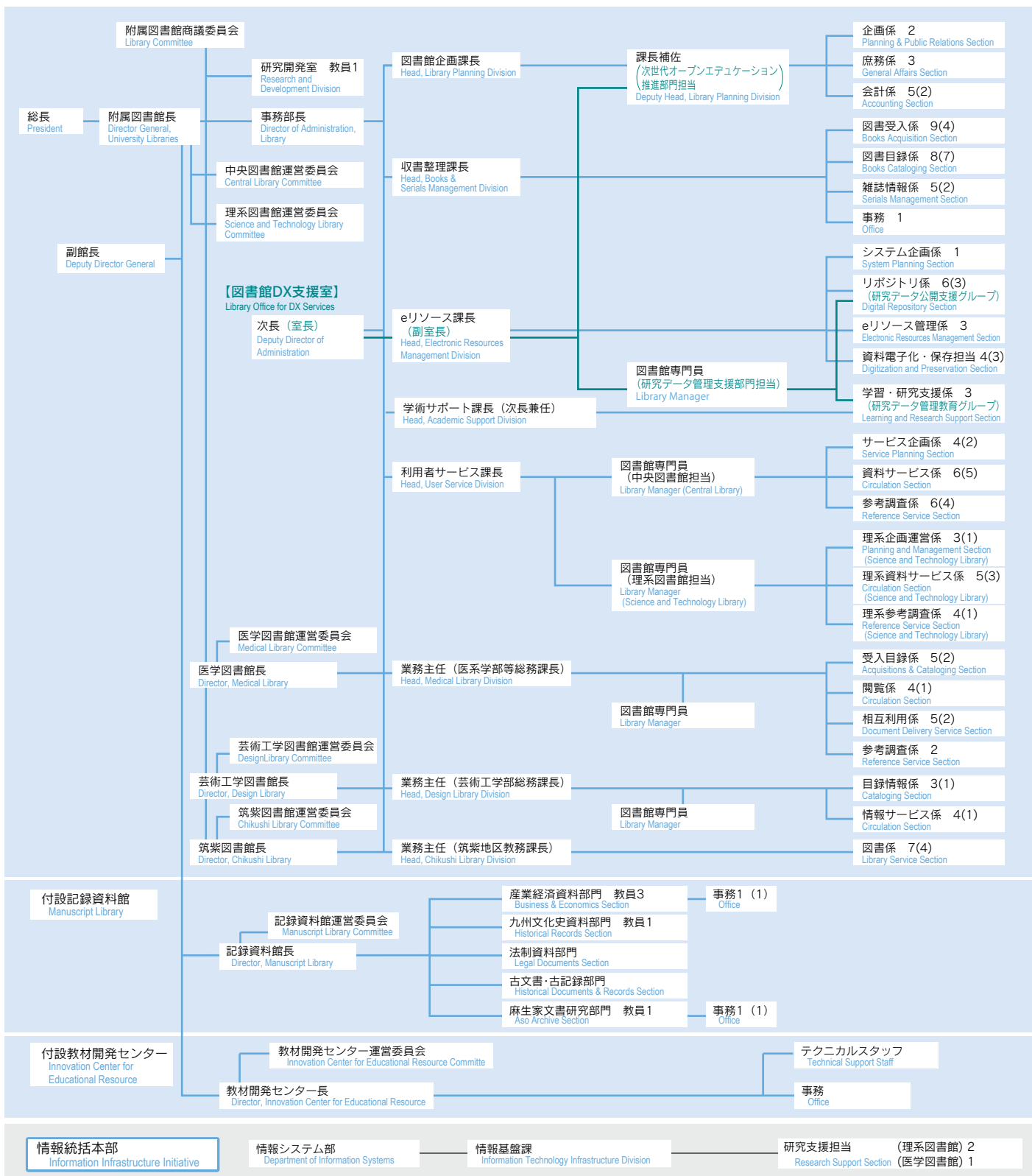


図書受入冊数は、令和3年度に増加した人文社会科学系部局での資料購入の減少がみられ、全体としては、コロナ下以前の水準に戻っています。また改修工事の影響で、医学図書館は令和2年度から、芸術工学図書館は令和4年度に受入冊数が減少しました。

雑誌は、外国雑誌の価格上昇や寄贈雑誌の電子化の影響により冊子体の受入数が年々減少傾向にあります。

附属図書館の組織 Organization

(令和5年4月1日現在)



区分	教授	准教授	講師	助教	合計
教員数	2	2	1	2	7

区分	部長	次長	課長	課長補佐	図書館専門員	係長/専門職員	係員等	合計
職員数	1	1	5	1	5	25	88(50)	126

※専任教員のみ。

※ 情報統括本部情報システム部情報基盤課研究支援担当を含む。() 内は非常勤職員で内数。

附属図書館長・副館長・分館長等

令和5年4月1日現在

附属図書館長	谷口倫一郎(理事、副学長)	筑紫図書館長	青木百合子(総合理工学研究院 教授)
副館長	竹熊 尚夫(人間環境学研究院 教授)	記録資料館長	宮本 一夫(人文科学研究院 教授)
医学図書館長	加藤 聖子(医学研究院 教授)	教材開発センター長	岡田 義広(教材開発センター 教授)
芸術工学図書館長	伊原 久裕(芸術工学研究院 教授)	事務部長	細川 聖二

附属図書館商議委員会

令和5年4月1日現在

委員長

谷口倫一郎(附属図書館長)

宮本 一夫(人文科学研究院 教授)

安田 和弘(工学研究院 教授)

山下 潤(比較社会文化研究院 教授)

古賀 徹(芸術工学研究院 教授)

飯嶋 秀治(人間環境学研究院 教授)

志堂寺和則(システム情報科学研究院 教授)

委員

竹熊 尚夫(副館長)

遠藤 歩(法学研究院 教授)

杉原 裕司(総合理工学研究院 教授)

加藤 聖子(医学図書館長)

清水 一史(経済学研究院 教授)

前田 幸嗣(農学研究院 教授)

伊原 久裕(芸術工学図書館長)

李 相穆(言語文化研究院 教授)

角 俊雄(基幹教育院 教授)

青木百合子(筑紫図書館長)

酒井 健(理学研究院 教授)

馬場 健史(生体防御医学研究所 教授)

宮本 一夫(記録資料館長)

稲濱 讓(数学研究院 教授)

寒川 義裕(応用力学研究所 教授)

岡田 義広(教材開発センター長)

三浦 岳(医学研究院 教授)

國信洋一郎(先導物質化学研究所 教授)

岡村 耕二(情報基盤研究開発センター長)

重村 憲徳(歯学研究院 教授)

縫田 光司(マス・フォア・インダストリ研究所 教授)

岩田 健治(留学生センター長)

片山 勉(薬学研究院 教授)

細川 聖二(附属図書館事務部長)

所属する図書館関係団体と九州大学の役割

附属図書館

国立大学図書館協会 理事館(全国の国立大学図書館)
九州地区国立大学図書館協会 代表館(九州地区の国立大学図書館)
九州地区大学図書館協議会 幹事館(九州地区の国公立大学図書館)
福岡県図書館協会 理事:館長(福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館)
福岡県・佐賀県大学図書館協議会 理事館(福岡県・佐賀県内の国公立大学図書館)

医学図書館

日本医学図書館協会(全国の医学系大学図書館および病院図書館・図書室)
九州地区医学図書館協議会(九州地区の医学系大学図書館)

外部委員会での職員の役割

- 細川 聖二(事務部長)
大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE) 協力員
- 渡邊 由紀子(次長・准教授)
福岡市総合図書館運営審議会委員 会長
- 結城 憲司(図書館企画課長)
オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR) 運営委員会委員
オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR) 研究データ作業部会主査
- 堀 優子(eリソース課長)
国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会委員
国立大学図書館協会資料委員会電子資料小委員会委員
大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE) 運営委員会委員
- 瓜生 照久(図書館DX支援室図書館専門員)
国立大学図書館協会 システム委員会委員
- 大村 武史(eリソース課システム企画係長)
国立情報学研究所学術認証運営委員会 図書館系サービス作業部会主査
- 松石 健祐(eリソース課eリソース管理係長)
大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE) 交渉作業部会委員
- 芦北 卓也(eリソース課リポジトリ係長)
国立情報学研究所学術情報ネットワーク運営・連携本部研究データ基盤運営委員会 RDM人材育成作業部会・作業部会員
- 羽賀 真記子(利用者サービス課サービス企画係長) 令和4年度
国立情報学研究所「目録システム書誌作成研修」企画
ワーキンググループメンバー
- 兵藤 健志(利用者サービス課参考調査係長)
国立大学図書館協会 人材委員会委員
- 原賀 可奈子(利用者サービス課資料サービス係長)
西洋古典資料保存のためのネットワーク「ほぞんネット」協力員
- 星子 奈美(学術サポート課学習・研究支援係長)
国立大学図書館協会 総務委員会委員
- 渡邊 真由美(医学図書館受入目録係長)
特定非常利活動法人日本医学図書館協会 評議員
- 中村 智晴(収書整理課雑誌情報係員)
国公立大学図書館協力委員会 大学図書館研究編集委員会委員
- 室井 万穂(eリソース課リポジトリ係員)
オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR) コンテンツ流通促進作業部会・作業部会員

人事異動 Personnel Reshuffle

(令和4年4月1日~令和5年3月31日)

中央図書館・理系図書館

4/1	岩田 健治	附属図書館長	
4/1	細川 聖二	附属図書館事務部長	東北大学図書館総務課長
4/1	瓜生 照久	DX)図書館専門員	附属図書館事務部長
4/1	野原ゆかり	利)図書館専門員(中央図書館)	利)サービス企画係長
4/1	羽賀真記子	利)サービス企画係長	収)図書受入係長
4/1	佐方 小弓	収)図書受入係長	医)閲覧係
4/1	檜垣 俊夫	企)会計係	人文社会科学系財務課課長補佐
4/1	野崎 高士	収)図書受入係	人事部人事企画課
4/1	岡村菜々子	e)リポジトリ係	(採用)
4/1	峯田 陽香	収)図書目録係事務補佐員	(採用)
4/1	大藤 真之	e)リポジトリ係事務補佐員	(採用)
4/1	武田 歩波	利)資料サービス係事務補佐員	(採用)
4/1	井上 美貴	利)参考調査係事務補佐員	(採用)
4/1	井出 倫子	利)理系参考調査係事務補佐員	(採用)
4/30	後藤 真弓	(退職)	企)会計係事務補佐員
7/21	佐野 直樹	(退職)	利)資料サービス係(職域限定職員)
7/22	三上 真弓	利)資料サービス係	(育児休業)
8/1	中川 洋介	企)会計係主任	統合移転推進部統合移転推進課調整係主任
8/1	三栗野雅子	(病院患者サービス課専門職員)	企)会計係主任
9/1	井本あかね	企)会計係事務補佐員	(採用)
9/30	岩田 健治	(退任)	附属図書館長
9/30	松本 茂	(退職)	e)事務補佐員
10/1	谷口倫一郎	附属図書館長	
10/1	上土井宏太	利)資料サービス係	学)学習・研究支援係
10/1	三上 真弓	利)理系参考調査係	利)資料サービス係
10/1	北島 光朗	利)理系企画運営係	企)企画係
10/1	秋月 和美	利)理系資料サービス係	利)理系企画運営係
10/1	岩崎 崇宏	学)学習・研究支援係	情報システム部情報基盤課デジタルライブラリ担当
10/1	塚本 佳奈	企)企画係	利)理系資料サービス係
12/31	石田 栄美	(退職)	研究開発室准教授
3/31	富浦 洋一	(退任)	附属図書館副館長・理系図書館長
3/31	瓜生 照久	(定年退職)	DX)図書館専門員

3/31	井ノ上俊哉	(定年退職)	利)図書館専門員(理系図書館)
3/31	上田はるみ	(退職)	利)参考調査係
3/31	上土井宏太	(退職)	利)資料サービス係
3/31	高村 南美	(退職)	収)雑誌情報係事務補佐員
3/31	宇野真由美	(退職)	収)図書受入係事務補佐員
3/31	腰 美津子	(退職)	利)資料サービス係事務補佐員
3/31	石田 知子	(退職)	利)理系資料サービス係事務補佐員

医学図書館

4/1	久富 秋人	閲覧係	(採用)
9/30	持山 悦子	(退職)	医)相互利用係(職域限定職員)
10/1	古賀 京子	相互利用係	(育児休業)
3/31	住本 英樹	(退任)	医学図書館長
3/31	山崎 法子	(退職)	医)閲覧係
3/31	安武由美子	(退職)	医)相互利用係事務補佐員
3/31	齊藤 彰子	(退職)	医)受入目録係事務補佐員

筑紫図書館

4/1	青木百合子	筑紫図書館長	
4/1	森田 裕子	業務主任	
4/1	河上 章彦	図書係(特定有期事務職員)	利)図書館専門員(中央図書館担当)
3/24	荒牧須美子	(退職)	筑)図書係事務補佐員

記録資料館

4/1	原口 大輔	講師	記録資料館特任講師
-----	-------	----	-----------

情報システム部情報基盤課

10/1	児玉 芽生	デジタルライブラリ担当	利)理系参考調査係
------	-------	-------------	-----------

中央図書館・理系図書館	医)医学図書館
企)図書館企画課	芸)芸術工学図書館
収)収書整理課	筑)筑紫図書館
e)e)リソース課	
学)学術サポート課	
利)利用者サービス課	
DX)図書館DX支援室	

貴重資料の 学外展示・掲載・放映 Rare-Book-Provision to the public

貴重書等の学外での展示

資料名	所蔵館	展示会名	展示会場
「都府楼図巻」	中央図書館	企画展「絵でみる太宰府・詩でみる太宰府」 (R4.4.23~R4.6.5)	太宰府市文化ふれあい館
「琉球人漂着一件」	中央図書館	沖縄復帰 50 年記念特別展「琉球」 (R4.7.16~R4.9.4)	九州国立博物館
「平松儀右衛門道中日記」(楡垣文庫)	記録資料館	西九州新幹線開業プレ企画展「路をたどって～交通の要衝 武雄」 (R4.7.30~R4.8.28)	武雄市図書館・歴史資料館
「光琳画譜」(雅俗文庫)	中央図書館	特別展「国宝 鳥獣戯画と愛らしき日本の美術」 (R4.9.3~R4.10.16)	福岡市美術館
「日本国現報善悪霊異記」(春日政治・和男文庫)	中央図書館	特別展「京都平野と豊国の古代」 (R4.10.8~R4.12.4)	九州歴史資料館
「ケルムスコット・プレス設立趣意書」 「胤：童謡集」「春のおくりもの」(支子文庫)	中央図書館	特別展「ピアズリーの系譜 アールヌーヴォー、日本の近代画家たち」 (R4.11.19~R5.1.29)	下関市立美術館
看板「明治鉱業株式会社 明治佐賀事務所」	記録資料館 (産業経済)	企画展「燃える石を掘れ!!」 (R5.2.25~R5.3.26)	武雄市図書館・歴史資料館

貴重書等の掲載・放映(一部)、デジタルコンテンツ活用事例

●出版物への掲載

資料名	所蔵館	掲載資料名
「規矩準繩大匠新雛形大全」(廣瀬文庫)	中央図書館	『絵葉書が映す九州帝国大学と箱崎』(海鳥社、2022.9)
「うつほ物語絵巻」(細川文庫)	中央図書館	『新版うつほ物語』1~2(角川ソフィア文庫、2022.12、2023.3)
「秀葉和歌集」(萩野文庫)	中央図書館	『後水尾院御会研究：付『伊勢物語問書』翻刻』(新典社研究叢書、新典社、2022.11)
「今昔画図続百鬼」(雅俗文庫)	中央図書館	『人形と人間のあいだ』(NHKシリーズ NHKころをよむ、NHK出版、2022.9.24)
「天台山図詩」(雅俗文庫)	中央図書館	「豪潮律師の天台山図と頼山陽の耶馬溪図巻」(『郷土文化』239号、2023.3)
「火葬辨」(碩水文庫)	中央図書館	『家礼文献集成 日本篇十一』(関西大学東西学術研究所資料集刊、関西大学出版部、2023.3)
白鹿洞版「伝習録」	中央図書館	「漢籍善本紹介：九州大学附属図書館(1)白鹿洞版「伝習録」」 (『新しい漢字漢文教育』第73号、2022.11)
中国古典戯劇脚本小冊子・戯票(濱文庫)	中央図書館	「再論日本学者对中国戏剧表演史研究の开拓——以滨一卫的观剧记为中心」 (『戯曲芸術』2023年第1期、2023.2)
「忠義水滸全書」(石崎文庫)	中央図書館	『百二十回本「水滸伝」の研究』(汲古書院、2023.3)
「六韜」(支子文庫)	中央図書館	「第57回貴重書等指定委員会報告 新たな貴重書のご紹介」 (『国立国会図書館月報』2022年7/8月号、2022.7)
シーボルト「Nippon」	医学図書館	「シーボルトと川原慶賀(下) 日本と植物へ不変の愛着」(『日本経済新聞』、2022.10.9) 「携帯茶器等の変遷」(『緑茶通信』52号、2023.3)ほか
「筑豊石炭と鉄道」(安藤資料)	記録資料館(産業経済)	「鉄道開業150周年企画展「鉄道網から読み解く近代日本」目録小冊子ほか (ゼンリンミュージアム、2022.4.23-2022.8.28)
絵葉書「撫順永安台 一満鉄社宅ト炭砒長ノ社宅」	記録資料館(産業経済)	『日本の歴史』(講談社の動く図鑑MOVE、講談社、2022.11)
「尾道宗門帳」(長沼文庫)	記録資料館(九州文化史)	『資料編 近世』(新尾道市史、尾道市史編さん委員会、2022.11)

●TV放映

資料名	所蔵館	放送番組
「宗義達吹嘘」	中央図書館	「プラタモリ」(NHK総合放送 2022.10.15および2022.10.20)
「蒙古襲来絵詞(模本)」	中央図書館	「プラタモリ」(NHK総合放送 2022.10.22)
ヴァレンティエニ「万物の舞台」(ミヒエル文庫)	医学図書館	「新日本風土記 近江路」(NHKBSプレミアム放送 2022.4.29)
「大村家覚書附録1」(九州文化史所蔵写本)	記録資料館(九州文化史)	「号外！日本史スクープ砲」(BS松竹東急放送 2022.10.2)

●デジタルコンテンツ活用事例

九大コレクションで公開している貴重資料等のデジタル化画像については、一部を除き、事前の利用申請をすることなく、商業利用も含めて無償で自由な利用を可能としています。

令和4年度の特徴的な活用事例として、本学所蔵の「蒙古襲来絵詞」が、お菓子のパッケージに採用されました。



「てつほう最中」

図書館日誌

Diary

	全学・中央図書館	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	理系図書館
R 4 (2022) 4				11 仮設図書館オープン	
5		27 第93回日本医学図書館協会総会(書面回議)		24 第1回筑紫図書館運営委員会(書面回議)	
6	9 第45回附属図書館貴重文物講習会「資料探訪 廣瀬文庫本『筑前名所図会』について」 11 基幹教育総合科目「中村哲記念講座」開講(～8月3日)	24 外国雑誌センター館会議(書面回議)		20 第1回筑紫図書館図書資料選定委員会(書面回議)	3 第1回理系図書館運営委員会(書面回議)
7	1 ソウル大学校図書館とのドキュメントデリバリーに関する協力協定を締結 8 中央図書館運営委員会・理系図書館運営委員会合同会議(書面回議)	1 仮設図書館閉館 15 第1回医学図書館運営委員会(web会議)	29 第1回芸術工学図書館運営委員会(書面回議)		8 中央図書館運営委員会・理系図書館運営委員会合同会議(書面回議) 21 第2回理系図書館運営委員会(書面回議)
8	1 Sky株式会社とのネーミングライツパートナー契約締結 1 オンラインオープンキャンパス「中央図書館360°VRツアー」「九州大学中央図書館～ある学生たちの一日～」「動画でめぐる!九大図書館ってこんなところ」公開	1 医学図書館プレオープン(部分開館)		23 第2回筑紫図書館運営委員会(書面回議)	3 第3回理系図書館運営委員会(書面回議)
9	5 九大インターンシップ受入(～16日) 22 ソウル大学校主催 The 3rd SNU-KYUSHU JOINT SYMPOSIUM 内プログラム「Staff Exchange Program」 26 中央図書館運営委員会(書面回議)	30 グランドオープン準備に伴う一時閉館			16 第4回理系図書館運営委員会(書面回議)
10	6 第59回貴重文物展示「17世紀の日欧交流における医学と医療」(～3月31日) 6 電子展示「17世紀の日欧交流における医学と医療」公開 21 第1回附属図書館図書資料選定委員会大型図書資料専門部会(書面回議) 27 第59回貴重文物展示関連講演会(第46回附属図書館貴重文物講習会)「17世紀の日欧交流における医学と医療」	6 医学図書館グランドオープン 6 第59回貴重文物展示「17世紀の日欧交流における医学と医療」(～3月31日) 27 第59回貴重文物展示関連講演会(第46回附属図書館貴重文物講習会)「17世紀の日欧交流における医学と医療」			14 第1回理系図書館学生用図書選定委員会(書面回議)
11		17 第30回九州地区医学図書館員セミナー	30 第2回芸術工学図書館運営委員会(書面回議)		25 第5回理系図書館運営委員会(書面回議)
12	8 小展示「『麻生家文書』とその世界」(～12月25日) 8 電子展示「『麻生家文書』とその世界」公開 23 第47回附属図書館貴重文物講習会「『麻生家文書』の「二重」の整理過程」	19 第70回九州地区医学図書館協議会総会(書面回議) 27 第2回医学図書館運営委員会(書面回議)			
R 5 (2023) 1	5 第2回附属図書館図書資料選定委員会大型図書資料専門部会(書面回議)				
2		22 第3回医学図書館運営委員会(web会議)		20 第3回筑紫図書館運営委員会(書面回議)	16 第6回理系図書館運営委員会(書面回議)
3	8 中央図書館運営委員会(書面回議)	15 第4回医学図書館運営委員会(書面回議)	15 第3回芸術工学図書館運営委員会(書面回議)		

記録資料館	教材開発センター	全学会議 (全学の会議・委員会のうち、 教員が参加しているもの)	関係団体会議等への出席
			15 第52回九州地区国立大学図書館協会総会 (web会議)
			20 国立大学図書館協会春季理事会 (ハイブリッド開催)
	26 第1回教材開発センター運営委員会		9 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会 (書面回議) 23 第69回国立大学図書館協会総会 (web会議) 30 第73回九州地区大学図書館協議会総会 (書面回議)
20 記録資料館運営委員会 (書面回議) 25 第47回記録資料館運営委員会 (web会議)		5 第234回附属図書館商議委員会 (web会議) 15 第1回学術情報リポジトリ専門委員会	
	19 JMOOC 講座「化石のメカニズムを探るータフオノミーへの招待ー」(～9月16日)		
21 記録資料館研究会			14 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議 (web会議)
21 記録資料館運営委員会 (書面回議)		7 第1回電子ジャーナル等検討専門委員会 24 第1回電子ジャーナル等検討専門委員会 OA 出版モデル検討専門部会	17 国立大学図書館協会秋季理事会 (web会議) 29 2022 (令和4) 年度 福岡地区研究会 (web会議)
	23 FD 電子教材著作権講習会 (オンライン開催) 23 FD 電子教材開発者向け講習会 (オンライン開催)	19 第2回電子ジャーナル等検討専門委員会 OA 出版モデル検討専門部会	1 九州地区国立大学附属図書館館長・事務 (部・課) 長会議 (web会議)
19 第48回記録資料館運営委員会		31 第3回電子ジャーナル等検討専門委員会 OA 出版モデル検討専門部会	31 国立七大学附属図書館協議会 (web会議)
17 記録資料館運営委員会 (書面回議)			
	1 第2回教材開発センター運営委員会 (書面回議)	3 第2回電子ジャーナル等検討専門委員会 6 第1回電子ジャーナル等検討専門委員会電子ジャーナル等検討専門部会 15 附属図書館商議委員会 (書面回議) 28 第235回附属図書館商議委員会 (web会議)	

令和5(2023)年6月発行

編集発行 九州大学附属図書館
〒819-0395 福岡市西区元岡744
TEL(092)802-2471 (図書館企画課企画係)

製 作 城島印刷株式会社

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp>

